

檜山振興局における農福連携の推進に向けた取組 ～立茎アスパラガスハウス管理作業のマニュアル化の取組～

◎取組の経緯（きっかけ）

管内の高収益作物である立茎アスパラガスについて、春芽の収穫後から、夏芽の収穫までの期間は、主要作目である小麦・豆类・馬鈴しょの繁忙期と重なるため、ハウスの管理作業の人手不足が課題となっていた。

一方で福祉側でも障がい者の体力作り及びメンタルケアのため、施設外での就労機会の増加を求めていることがわかった。

そこで、試験的に管内農協のアスパラガス部会の農業者が所有するハウスにおいて、福祉事業所向けの農作業体験会を始めた。

取組メンバー

- ・厚沢部町農林課
- ・乙部町産業課
- ・JA新はこだて厚沢部基幹支店
- ・JA新はこだて厚沢部基幹支店アスパラガス部会
- ・NPO法人ひまわり乙部
- ・檜山振興局農務課、社会福祉課
- ・檜山農業改良普及センター

◎取組内容

◆ 農作業体験会・見学会

福祉事業所向けの農作業体験会とその様子を農業者が見学して農福連携への理解を深める見学会を開催した。

◆ 管理作業のマニュアル化

実施した体験会をもとに、農業者版と福祉事業所版の取組マニュアルを作成した。

◆ その他農福連携推進イベント

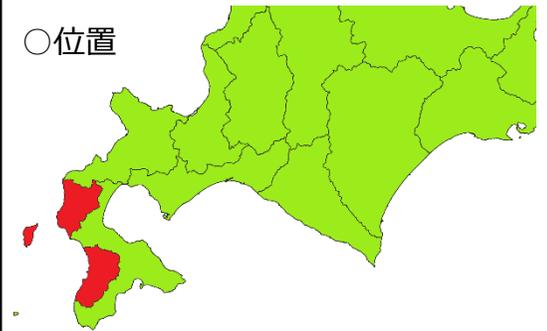
農業者と福祉事業所の相互理解を深めるため、農福連携に係る先進地調査やセミナーを開催した。



農作業体験の見学会の様子

檜山地域の概略（7町）

○位置



○農業データ

経営形態
水稲、ばれいしょ
豆类、野菜等

○福祉データ

A型福祉事業所
2か所
B型福祉事業所
10か所
(振興局管内)

※令和4年12月31日現在

◎成果と課題 □：成果 ■：課題

- 農作業体験会・見学会の開催により、JA新はこだて厚沢部基幹支店のアスパラガス部会において、実際に対価を支払っての作業が実現し、その実績からマニュアルを作成することができた。
- 局主催の農福連携イベントを通じて農業者と福祉事業所がマッチングし、作業を受委託したケースが生まれた。
- 農福連携の普及拡大のため、イベント実施やマニュアルの配布等の更なる取組が必要。
- 小規模な福祉事業所が多く、職業指導員や利用者数に限りがあり、施設外作業にさける人員や時間が限られるため、施設内で実施可能な作業の模索・検討が必要。



福祉事業所の利用者が立茎アスパラガスハウスの管理作業を行う様子